

# 地域コミュニティの活性化を支援するデザイン

## 研究内容

地域で実際に行われている活動を対象に、関係者にとってより快適に活動が行えるようにするための道具・システムの開発・デザイン方法を研究している。

レシピサイトの“クックパッド”や家計簿ソフト“マネーフォワード”に代表されるような、特定の分野のサービスをソフトウェアプロダクトにまとめビジネスとして提供する現代の開発では、生活者の要求への対応と継続的な開発プロセスが重要である。開発の過程に、関係者が参加しやすく意見を反映しやすいデザインプロセスや開発ノウハウの蓄積を行い、プロセスやノウハウの一般化を試みている。



## 地域・産学連携の可能性

ICTを利用したWebサイトやアプリケーションは、適切なカタチ（コンテンツ、画面レイアウト、用語、操作手順や運営方法など）を与えることによって生活者にとって有益なものができる。そのためには、生活者やビジネス・技術の提供者が適切に開発に参加し、一つのカタチにまとめ、評価と開発を繰り返す必要がある。

現在取り組んでいる開発対象として、動物公園の動物案内ボランティアや来園者への情報提供用モバイルアプリケーション（図1）、地域メディアのWebサイト開発支援（図2）、学習コミュニティの情報共有Webサイト（図3）、地域コミュニティの情報共有支援、などがある。

いずれも、地域や企業とともに取り組む、学生と一緒に解決することで、問題の解決と地域の課題を解決する人材の育成を行っており、今後も適切な対象・組織と連携していきたいと考えている。

このテーマに関連するプロジェクト研究所

北欧デザイン研究所

このテーマに関連するSDGs開発目標



ライフデザイン学部 産業デザイン学科 エクスペリエンスデザイン、情報デザイン、インタラクションデザイン

**両角 清隆** MOROZUMI Kiyotaka

教授、博士（学術）

[URL](http://takimichi.org/) <http://takimichi.org/>



**Keyword**

コミュニティサポートデザイン、参加型デザイン(Co-Design)、産学連携、地域連携